

平成26年度 学校自己評価システムシート (武南中学校)

(A3判横)

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

目指す学校像	毎日のしっかりした学習に支えられた豊かな教養を養うとともに、きめ細かな躰・生活指導を行って優れた人格を育て、グローバルリーダーとして必要な人間性と知性の育成を図る
--------	---

重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 授業の充実・改善 2 開かれた学校づくり 3 進んで行くことができる自主性と学力の向上 4 生活指導の徹底 5 部活動・学校行事等の充実・振興
------	---

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

出席者	学校関係者	4名
-----	-------	----

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標					年 度 評 価 (3 月 20 日 現 在)			
番号	評価項目	現状と課題	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策	学校関係者からの意見・要望・評価等
1	授業の充実・改善	<ul style="list-style-type: none"> ・中高一貫教育の第一ステージ基礎力の充実期、授業方法と内容の充実を図る ・生徒の実態を把握し効果的な先取り教育を行う ・生徒の興味関心を引き出し、伸ばすための授業方法を研究する ・授業時間確保、授業で鍛えよう圧倒的基礎力進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員授業力向上研修、情報機器活用研修を実施する ・先取り教育をどの教科で行い、時間を生み出すか検討 ・授業観察シートを用いた授業評価、教員間の授業参観を進める ・生徒には予習・復習の奨励と学習時間を確保する。提出物指導を徹底する 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員の授業観察と観察シート用いた意見交換(5、6月) ・毎日BASLを行って小さな時間を積み上げる 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察シートを用いた授業研究6月(常勤)10月(非常勤)実施。オープン教室、いつでもどこでも授業参観できる学校運営を実施 ・ICTを活用した授業研究会(2月)COACHing研修会(1月)を実施、授業力向上に努めた ・英国数では習熟度と先取り授業で生徒の学力向上を図る ・数学は2年次で中学数学終了 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察シートを用いた授業研究を更に進める ・教員相互間の授業研究を進めるとともに授業実施上の課題を共有して指導力を高める ・学校の教育力の柱となっているICT教育の発信に努める ・早朝学習を呼びかけ、小さな学習時間の確保に努める ・BASLの時間を確保して生徒の振り返り力を高めて学力を伸ばす 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で積極的にICTを活用していこうとする姿勢はよく見られ、年々その勢いも向上していると思われる。 ・生徒たちの力を引き出す魅力ある授業にもう一工夫の努力を望む。 ・定期的に生徒から授業がわかりやすかったか、興味を持つことができたか、生徒からの評価も取り入れて頂きたい。 ・掲示物など大変充実し、よい環境で取り組んでいる様子が伺えます。
2	開かれた学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会、学校公開、入試体験会等を進め学校の教育活動を幅広く公開する ・塚越小学校との交流活動を拡充する ・年間を通し組織的な生徒募集活動を行う ・学校の教育活動を情報発信する 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会は5月以降7回実施、授業公開、入試体験会等は時期を調整して実施する。 ・「英語の交流授業」から活動を更に広げる ・生徒募集は川口、戸田・蕨、さいたま市を重点に進める ・学校の教育活動を印刷物、HPで積極的に発信する 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前に広報を周知し学校説明会、学校公開等を実施 ・塚越地区生涯学習フェスティバルに参加する ・学年・クラス通信の発行と、リアルタイムでHPを更新する 	<ul style="list-style-type: none"> ・入学説明会参加者の掘りおこしができず、受験者・入学手続き者が定員過半数を大きく割り込んだ。 ・HP、PRサイトの改善ができず情報発信に課題があった ・塚越小学校との交流：体育祭補助(10月)英会話交流授業(2月)を実施 	C	<ul style="list-style-type: none"> ・他校の説明会を学び、方法・内容の改善を図る。 ・塾訪問の在り方を見直し、定期的・組織的に行う ・HPを作り直し、学校の教育活動をリアルタイムで広報する。武南中学校、高校新聞を発行し教育活動を積極的に広報する ・高校広報部と連携する 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒数減少しているのが心配である。保護者、子どもが私立に求めるものは学力と私立ならではの特色にあると思う。その特色、PRが弱いのはコアとなる差別化が未だ明確になっていないこととPR戦略なのである。 ・リアルタイムのHP更新が必要である。 ・様々な地域交流は素晴らしい。
3	進んで行くことができる自主性と学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に不可欠な学習時間の確保を学校を挙げて行う ・毎日朝読書、BASLを行う。一日の学習が落ち着いて行われ、予習・授業・復習を計画的に行わせる ・年間を通して道徳指導を行い、規範意識を育てる 	<ul style="list-style-type: none"> ・小さな時間を積み上げて学習時間を確保する。 ・朝読書は読書習慣を指導するとともに落ち着いて授業に取り組ませる出発点にする ・長期休業中には学習合宿を行い習熟度に応じて一人ひとりの学力を伸ばす ・先進校視察を行い、全国の進んだ取組を学ぶ ・いろいろな機会に頑張っている生徒を顕彰する 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校での学習、家庭学習を積み上げて学習時間を確保する ・入学当初にHR合宿を行い、中学での学習(学習の量、スピード、質)を学ばせる ・中高一貫用進路カード作成を検討する ・意識を高める生徒集会を折々に実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習帳、情報サイトPortalを活用して家庭学習を進めた ・HR合宿(4月)Englishキャンプ(12月)学習合宿(3月)を行い中学生の学習法を学ばせ、上位者を伸ばした ・毎朝15分朝読書を行い、授業規律を高める指導を進めた ・2年海外研修のための講演会、ワークショップを計画的に実施 ・朝礼、行事リエンション、国際理解等生徒集会を各学期実施 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭学習2時間を確実にこなさせる ・中学生の学習法を確実に身につけさせる ・朝読書指導を確実にを行い、学習規律を育てる ・高校進級時に行われる進級テスト(1月)への準備をしっかりと行わせ、全員が合格できるように指導する ・中学生用進路カード作成を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力向上に対する多彩の方策やアプローチがなされている点は高く評価したい。子どもたちの力も伸びてきているのはその成果であろう。 ・朝読書の効果は大きいです。是非継続を望みます。 ・合宿により成果を出すことができたことは評価できます。 ・小さな時間の積み重ねは学力向上につながる。家庭学習の習慣を身につけさせてほしい。
4	生活指導の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒の課題を把握して問題行動の予防に努める ・凡事徹底を進め、所作・身だしなみ等内面を鍛え、社会性を身につけさせる ・挨拶は学校の顔、挨拶を励行する 	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒指導部と学年が連携して問題行動の予防に努めるとともに生徒指導を徹底する ・凡事徹底：授業集中、時間を守る、服装を正す、整理整頓、はきものをそろえる。意義を繰り返して話し、徹底する ・挨拶は大きな声で届ける 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員で毎日登下校指導を行う ・職員が同じ目線で指導し、課題となっていることを全員で正す ・職員が率先して挨拶、生徒には繰り返し指導する 	<ul style="list-style-type: none"> ・登校指導、下校指導の徹底 ・職員全員が繰り返し凡事徹底指導を行う：時間を守る、服装を整える、挨拶を届ける、整理整頓、はきものを揃える ・学年会で課題を共有、全員が一致した指導を進めた 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・凡事徹底を進めて生活規律・学習規律を高める ・課題に対する共通認識を深め、生徒指導には迅速に対処する ・各委員会を組織して生徒による凡事徹底を進める 	<ul style="list-style-type: none"> ・落ち着いた授業態度は日々の指導成果と思われる。いい生徒たちに育ってきているのを授業参観させて頂いて感じた。 ・来校時には気持ちのよい挨拶をしてくれます。 ・全員が“明るい挨拶”から、特に思春期の難しい時代、凡事徹底は人として大事なことで、引き続き指導を望む。
5	部活動・学校行事等の充実・振興	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動・委員会活動を奨励する ・生徒の意識を高める学校行事を実施する ・生徒会は年間を通した活動を行うとともに、地域に貢献できる取組を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・互いに協力し生徒一人ひとりが自分自信を磨く場とする ・高校の各種式典・行事に参加し高校生規範意識を学ぶ ・父母の会、後援会と連携し、環境美化保全活動を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・優れた活動・成績をあげた生徒を顕彰する ・高校生との活動を行い、母校愛を育てる ・学期毎、西川口駅から本校への通学路クリーン作戦を実施する 	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動の確保と活動の充実課題があった。校内行事・各種大会等の優秀者、成績優良者、英検等合格者を顕彰し生徒の意欲を高めた ・父母の会の協力を得て通学路クリーン作戦を実施(3回) 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設確保を行い、週2回以上の部活動を確実に開催 ・種々の大会・コンクールに積極的に参加し生徒の活動意欲を高める ・生徒会活動を活性化させ、主体的に学校行事に取り組ませる 	<ul style="list-style-type: none"> ・様々な学校行事が年々増え向上しているのがよい。 ・クリーン作戦はだいぶ定着してきました。人のために役立つことの感動を皆で共有できれば最高です。 ・生徒に責任と権限を与え主体性を持たせることは必要だと思う。